

事務事業名		幡屋地区基幹農道整備事業負担金		所属部	農林振興部	所属課	農林土木課	
総合計画体系	政策名	〈V〉挑戦し活力を産みだすまち〈産業〉		所属G	農林土木G	課長名	宮川 勝	
	施策名	(34)農業の振興		担当者名	古瀬 秀俊	電話番号	0854-40-1053	
	目的対象	市内の農家	意図	安全・安心な農畜産物を生産するとともに、農業所得が向上する。				
	基本事業	(097)農業基盤の整備・保全		予 算 科 目	0:1:3:0:0:6	大 事 業 名	県営農道整備事業	
目的対象	担い手農家をはじめとする農家	意図	働きやすい環境で、農業の生産性が維持・向上する。				中 事 業 名	基幹農道整備事業負担金
				0:5:6:5:3:5	大 事 業 名			

1 現状把握【DO】

(1) 事務事業の概要

① 対象(誰、何を対象にしているのか)	② 意図(対象がどのような状態になるのか)
農業者及び農道利用者	農産物の輸送が効率的になるとともに、安心安全な通行ができる。
③ 事業内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	
事業期間 <input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 ( 年度 ~ ) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( H23 年度 ~ R5 年度 )	農業生産の近代化及び農業生産物等の流通の合理化を図るとともに、農村地域の生活環境の改善を図り、基幹的な農道の整備を目的としている。 延長:2,292m 幅員:5.5(7.0)m 受益面積:180ha. H30年度とR2年度に土地改良法手続による計画変更 変更前1,701,000千円⇒変更後2,625,000千円 工事完了 R3年度→R5年度
④ 主な活動	⑤ これまでの改革・改善経緯
R3年度実績(R3年度に行った主な活動) 変更土地改良法手続き、工事説明会、負担金支出、地元調整	(この事務事業に関してこれまでどのような改革改善をしているか?) 特になし

(2) 事務事業の指標

成果指標	単位	R元年度(実績)	R2年度(実績)	R3年度(実績)	R4年度(計画)
ア 事業進捗率(事業費)	%	51.2	67.3	85.0	92.9
イ 供用延長	m	0.0	0.0	0.0	0.0
ウ					
エ					

(3) 事務事業のコスト

① 事業費の内訳 (R3年度決算)	② コストの推移	単位	R元年度(決算)	R2年度(決算)	R3年度(決算)	R4年度(計画)	
・幡屋地区 事業費:447,000千円 市負担:44,700千円(負担率10%) 地方債(過疎)	財源内訳	国庫支出金	千円				
		県支出金	千円				
		地方債	千円	39,000	40,700	44,700	20,000
		その他	千円				
		一般財源	千円	0	50	0	
	事業費計	千円	39,000	40,750	44,700	20,000	

2 事後評価【SEE】

① 事業実績における成果	未供用であり、道路利用者に対する成果は無し。
② 事業実施するうえでの課題	安定した流通ルート確保のため、今後も継続的な農道整備が必要とされている。
③ 課題解決に向けた改革改善等	県と連携し、引き続き円滑な事業推進に努める。